

令和4年度 県高校総体①・ワープロ大会結果報告

文責 校長伊藤

県高校総体の前半の大会が5月末に行われました。また、28日には商業研究部ワープロ班が出場した大会も行われました。以下結果報告です。今週末には県高校総体後半の競技が行われます。

＜陸上部 ND スタジアム＞

3年 中川穂俐(走り幅跳び、三段跳び出場) 1年 中津川稀愛(200m出場)

＜バドミントン部 新庄市・東根市民体育館＞

男子団体 1回戦 0対3 山形商業

女子団体 1回戦 3対1 天童、2回戦 0対3 新庄東

＜商業研究部ワープロ班 本校にて＞

団体 第5位



6月後半の県大会会場 6月3日～5日

- ・弓道部(山形市総合スポーツセンター弓道場) ・ソフトテニス部(酒田国体記念テニスコート)
- ・女子バスケットボール部(九里学園高校) ・女子バレーボール部(鶴岡小真木原総合体育館)
- ・ホッケー部(川西町ホッケー場)

前期生徒総会

5月25日に前期生徒総会が行われました。生徒会長の所信表明演説に続き常置委員会(執行、風紀、保健、広報、図書、企画、応援委員会)の各委員長より活動目標や活動内容についての説明が行われました。プロジェクターを使っ



感動！芸術鑑賞 いつだって青空～ブルマー先生の夢～

5月26日に実に3年ぶりの開催となった芸術鑑賞が米沢市民文化会館で行われました。秋田を本拠地とする劇団わらび座の「いつだって青空～ブルマー先生の夢～」ミュージカルです。役者の皆さんは生き生きとしておられ、とにかく感動しました。生徒の感想も「鳥肌が立った」「ミュージカルって面白い」「女性として生き方に感銘を受けた」等 大絶賛でした！本校が今年の芸術鑑賞の事務局という事で、特に竹田先生からは大変にご苦労いただきました。最後に当地区を代表して私から御礼の言葉を申し上げると共にお土産に米沢おたかぼっぼを差し上げました。最後に私だけ劇団の皆さんと記念撮影もありました(ごめんなさい)。本物に触れるって本当に大切なことですね。



祝！川村哲大先生 ご結婚

6月はジュンブライド(古くから6月の結婚は幸せになれるとの言い伝え)。その6月11日に川村哲大先生がご結婚されます！おめでとうございます(女子生徒から落胆の悲鳴が聞こえてきそうですが…)！

川村先生は現在米商史上最年少で生徒保健部長を務めていただいている将来有望な先生です。この春には初めて担任として卒業生を送り出し、さらにはイメ面ぶりからは想像できない剣道の猛者でもあります(県大会で優勝も！)。お相手は地元庄内の民間企業にお勤めの方だそうです。コロナ禍ということもありご家族だけで式を挙げられるそうです。川村先生のタキシード姿はとても似合うでしょうね。



川村哲大先生 ご結婚おめでとうございます！そして末永くお幸せに！

10万円のご寄付をいただきました！渡部様(卒業生)の想い

米沢市春日の富士屋商店代表取締役の渡部正男様より本校体育文化後援会に10万円の寄付をいただきました。渡部様は本校の卒業生です。寄付された理由が素晴らしいです。ご本人の了解を得て、いただいた手紙の一部を抜粋します。渡部様は剣道部員でした。

…ある日防具の面を縛る紐が切れてしまい、備品として稽古館の倉庫に保管してあった新品の紐を使わせていただきました。特に誰に断るわけでもなくその紐を持ち出したところに顧問の近野先生が偶然に現れました。少し気まずい雰囲気になりました。先生は無断でも備品を持ち出した私に対して一言何かチクリとお話しされました。その際、私は「自分が大物になったら10倍にも100倍にも返しますから」と調子のよいことを言ったのでした。その直後あきれてまた叱られるのかと思ったところに先生は「よし！」と大きな声と共に笑顔で私を見つめ、その場を去っていきました。

35年ほど前のことですので近野先生は憶えていらっしゃるかもしれませんが、私は高校時代のことを思い出すたびに、同時に鮮やかによみがえるエピソードです。とはいえ誰も知らないことでもあり、今までに実行に移すことはありませんでした。

この度、母校米商が120周年を迎えると聞き、また4年後の統合、そして私自身がたくさんの方々のお支えにより地元米沢で事業を営み年月を重ねるごとに母校に対する思いも募り、母校の発展と生徒の皆さんのお役に立てればとの思いに、近野先生との約束を合わせ、ご寄付をさせていただきます。些少ではありますがお納めいただき、母校生徒の皆さんの学校生活の一助にさせていただきますようお願いいたします。

米沢商業高校として残された時間に限りがあることは残念ですが、生徒の皆さんが至誠・進取の校訓の下、大胆に、力強く青春の火を燃やし、大きな夢をもって将来地元米沢をはじめ日本経済を動かす日本の宝となりますようご期待申し上げます…

とても感動しました。文中に出てくる近野先生は理科の先生でした。ご退職されすでに20年近くが経ったと思います。このことについては、近野先生に私が手紙を書いてお伝えしました。きっと私以上に感動されることでしょう。結果がすぐに出ないことがあります。教育の成果もそうかもしれません。しかし35年の時を経て、このような形で母校に恩返しをする。近野先生はすでに教壇を退かれておりますが、どれほど嬉しく思われることでしょうか。渡部様 本当にありがとうございました。

